

こんにちは!

日本共産党 長野市議団

です



(左から) 竹内茂、あべ孝二、野々村ひろみ、
佐藤久美子、滝沢しんいち、黒沢清一 各市議

日本共産党 市議会だより

2018年12月定例議会報告

発行／日本共産党長野市議員団

長野市緑町1613 長野市役所内 日本共産党控室

〒380-8512 TEL. 226-4911(内線3936) FAX. 266-7882

HP <http://www.avis.ne.jp/~up/naganojcp/>

E-mail nsjcp@mx1.avis.ne.jp



12月

議会報告

12月定例議会が11月29日から12月17日まで開かれました。一般会計補正予算など議案40件、報告6件、条例改正、人事案が提出されました。

日本共産党長野市議会議員団は代表質問を佐藤議員が、一般質問は竹内、黒沢、野々村各議員が行い阿部、滝沢議員が討論などで活躍しました。

加藤市長 「社会保障財源としてふさわしい10%消費税増税に

安倍政権が来年10月から消費税を10%に上げると宣言。県内の中小企業団体中央会が「地域の中小企業はアベノミクスの成果を実感できていない。それどころか、経営環境は一層厳しさが予想される」と訴え、内閣官房参与でさえ、「日本経済が壊れる」と警鐘をならす増税。

所見を問われた加藤市長は、「消費税は景気等社会情勢に左右されない安定的な税収をもたらす」と答弁。

公費投入で国保保険料の引き下げを 「法定外繰り入れは計画的に削減」を県が指導

市民生活の影響については「国の動向を注視する」という答弁で市民の暮らしに寄り添う姿勢はありませんでした。

サービスの提供で、所得の再分配を行うことになる」と答弁。

教職員の異常な長時間労働の実態はどうか、共産党が行つた今後10年間で9万人教員定数を増やす提言について具体的にどう考えるか、市の教育現場の実態と国へ向けての意見書提出などを質しました。

国保制度は国民皆保険制度の重要な柱。全国知事会も公費1兆円の投入で「協会けんぽ並みの負担」にすることを求めています。国保制度の均等割りと平等割負担は合わせて全国で約1兆円、この分の公費投入を求めました。また長野市はこれまで一般会計から10億円の繰り入れで市民の負担軽減を図りました。今後も継続することで保険料の負担軽減を求めたものです。

れ、保険料が2年間で0・3%引きあがる方針とのこと。国も県も更なる公費の投入を行っている公費の繰り入れをやめさせる指導

ころか各自治体で行っている公費の繰り入れをやめさせる指導

日本共産党教育提言を提案 教育次長 「定数改善により多くの課題が解決する」

業務を削減するための見直しは学校における働き方改革推進基本方針を作成し対応する。当面は1か月80時間を超える教職員をゼロにすることを目指したい、と答弁しました。

長野市の教員の時間外勤務の実態は小学校で約59時間、中学校で約69時間。その要因となつている諸課題は定数改善によつて解決できる、と答弁。そして県と共に様々な機会をとらえて

おいて全会一致で教職員定数の改善を求める意見書を提出しましたが、市教委ともこの点は一致する課題であり今後も国へ働きかけていきたいと考えます。

教職員の働き方を変えたい

Reform of work style for teachers and staff



日本共産党

を行っているのです。市民の命と健康にかかる問題で引き続き市民の皆さんと一緒に声を上げていきます。

「任意接種に補助を検討」と答弁

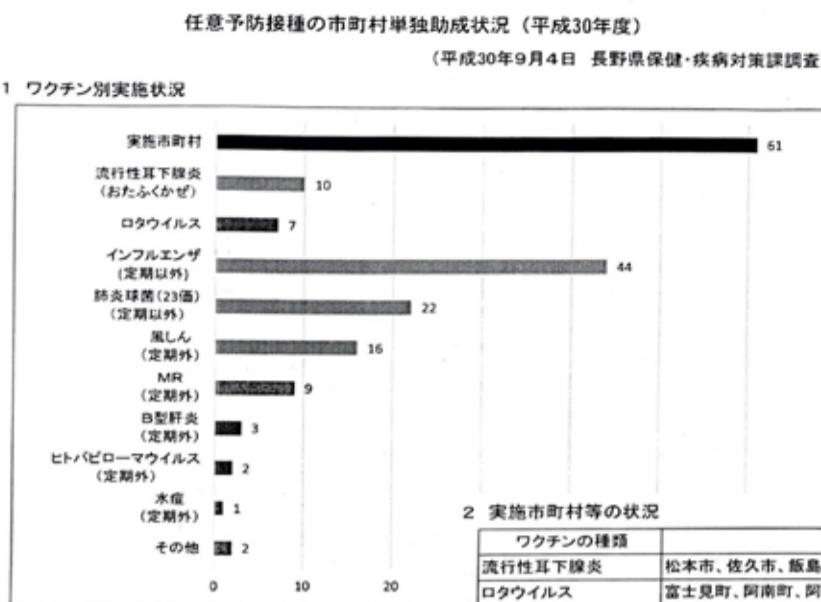
長野市は大人の風疹ワクチンなどに對して全く補助制度がありません。

全県的には、財政力が長野市より小さな自治体でも独自に補助している所が増えています。

風疹は妊娠初期にかかると胎児に重大な影響があるために、流行によつて深刻な事態が懸念されています。小児のインフルエンザワクチンは2回の摂取が必要で、一人当たり約8千円もかかります。

市民の健康を守り、子育て支

援のためにも任意予防接種に補助すべきと質したところ、加藤市長からは 医師会からの要望もあり補助など含めて検討すると答弁がありました。



ワクチンの種類	実施市町村
流行性耳下腺炎	松本市、佐久市、飯島町、阿南町、大鹿村、南木曾町、木曾町、木祖村、玉造村、大桑村
ロタウイルス	富士見町、阿南町、阿智村、壳木村、大鹿村、南木曾町、木祖村
インフルエンザ	須坂市、中野市、大町市、飯山市、千曲市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、長和町、原村、飯島町、南箕輪村、宮田村、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、壳木村、天龍村、泰阜村、豊丘村、大鹿村、南木曾町、木祖村、玉造村、大桑村、生坂村、池田町、白馬村、小谷村、小布施町、高山村、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、信濃町、小川村、栗村
肺炎球菌(23価)	松本市、飯田市、諏訪市、中野市、茅野市、佐久市、小海町、北相木村、軽井沢町、富士見町、原村、中川村、松川町、阿南町、平谷村、下條村、壳木村、豊丘村、木祖村、朝日村、池田町、野沢温泉村
風しん	上田市、小諸市、塩尻市、千曲市、佐久穂町、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、立科町、飯島町、南箕輪村、南木曾町、木曾町、木祖村、大桑村
MR(風しん・風疹)	佐久市、南牧村、南相木村、軽井沢町、立科町、飯島町、南箕輪村、木祖村、大桑村
B型肝炎	松本市、下諏訪町、木祖村
ヒトバビローマウイルス	軽井沢町、平谷村
水痘	阿南町
その他	○破傷風 山形村 ○骨髄移植手術等特別の理由により、接種済みの予防接種の効果が期待できないと医師に判断された定期予防接種 飯島町

県下ですすむ任意接種への補助制度

市下ですすむ任意接種への補助制度

市の公共施設の35%が学校施設。豊野東小学校は建設から38年、雨漏りときびがひどくなつた体育館です。

全校生徒171人の学校ですが、未来トーキの場で同窓会の役員さんから「小学校の雨漏りをどうしてくれるか」と意見が出された。雨漏り、水回り、トイレ改修、ペールのペンキ塗りなど老朽化に伴う深刻な問題がほつておかれているのではない

かと質しました。

児童生徒の安全性確保の面からも早急な対応を強く求めました。

豊野東小学校体育馆など

学校現場からは710件の要望



老朽化が進む体育馆

経済文教委員会／農林業振興対策特別委員会(副委員長)／決算特別委員会／議会活性化検討委員会／都市内分権審議会

黒沢清一



滝沢 shin-ichi

建設企業委員会／公共施設のあり方特別委員会／長野広域連合議会議員／議会報編集委員会



竹内茂

福祉環境委員会(副委員長)／小学校の在り方調査特別委員会／議会議員／都市内分権審議会／市会議員／千曲衛生施設組合社会事業協会評議員

設置工事は従来型で

「一括発注しない」と答弁

長野市では小中学校の教室に来年夏までに30校、2020年夏までに30校エアコンを設置します。設置方法はPFI手法ではなく従来型で進めると説明があり予算が提案されました。

議会ではさらに経済効果が広く反映するように工事を細分化して一括方式で入札を行うよう求めました。

市では一括で発注するのではなく、地域性や事業規模など一定の基準により、複数の学校をグループ化して実施したい。一括入札方式は、すでに落札したものはそれ以降無効になる入札方式です。これについても障害が無いか検討していくと表明しました。

小・中学校の教職員の

長時間勤務改善について

「校長会や管理職へ指導している」の回答

教職員の勤務実態調査では、平均超過勤務時間は80時間を超えて過労死ラインを超えています。

休憩時間がゼロの回答も47%です。給食の時間も給食指導を行い、アレルギー除去食配慮や指導もあります。

勤務実態調査で教職員がゆとりを生み出すために特に精選・縮小したい事例のトップが「教育課程研究」です。「教育課程研究」は県教委・市教委・校長会が主催です。全国で「教育課程研究」が行われているのは、沖縄県と長野県のみです。この「教育課程研究」に係る勤務

の終わりは平均で20時間25分です。これでは、超過勤務が前提になつてているのが現状です。

多忙な現場の負担軽減のために、市教委がリーダーシップをとつて研究・研究授業改善を行うべきと質問しました。

市教委は「勤務時間等の調査で勤務実態の把握につとめ、多忙な勤務にならないよう校長会に指導している」の回答にとどまりました。

依然として多くの教職員が過酷な勤務を強いられています。根本的な改善が求められています。

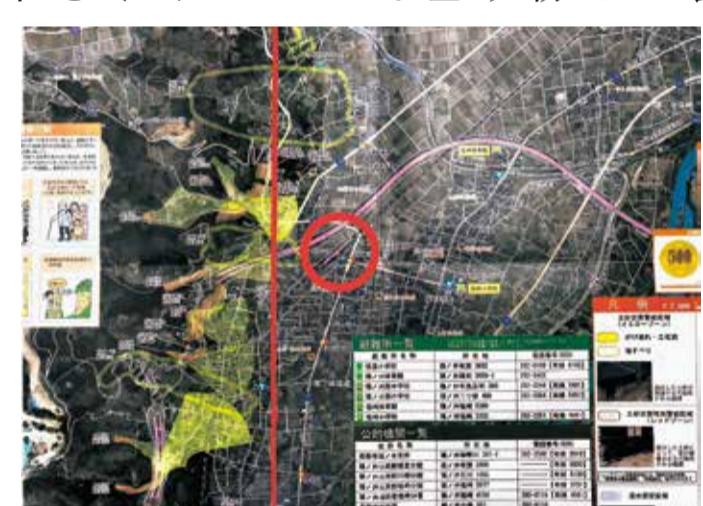
土砂災害ハザードマップの配布

河川や沢のえん堤の現地調査を

今年度長野市は、NTTと協力して作成した防災・防犯タウンページは全戸配布され

有効です。しかし、塩崎の長谷越地域のイエローボーン・レッドゾーンが示されたものは不

れて発行すると回答。



▲市ホームページハザードマップより

の地震編、今年の土砂災害編に続いて、来年は洪水編をこれまでの要望も取り入れて発行すると回答。

塩崎長谷の地域では、歴史的にも古くから頻繁に土砂水害が起きています。河川や沢のえん堤の現地調査を計画的にすべきことを要求しました。

市では、「市内のえん堤数は約1300基と多いことや、山地にあるといふことから地域の方にも流木や土砂の堆積状況など情報提供をお願いしている。砂防えん堤の在り方については、「今後

市は、昨年の地震編、今年の土砂災害編に続いて、来年は洪水編をこれまでの要望も取り入れて発行すると回答。

総務委員会／農林業振興対策特別委員会／北信保険衛生組合／都市計画審議会

十分であり、他の地域でも同様なことがあります。今後の周知の計画について質問しました。

佐藤くみ子（幹事長）

野々村ひろみ（団長）

あべ孝一（副団長）



建設企業委員会／まちづくり対策特別委員会／長野広域連合議会議員

「後期高齢者の窓口負担の継続を求める意見書採択についての請願」

新友会・公明党が否決

長野地区社会保障推進協議会は、「経済的理由により必要な受診が出来ない高齢者が増えている」として後期高齢者の医療費窓口負担の1割の継続を求めた。

審議した福祉環境委員会では、請願者が参考人として陳述し、高齢夫婦無職世帯では生活費などが毎月約5・5万円不足し預金を取り崩して生活せざるを得ず、又預金なしの高齢者世

帶は15・1%いる実態も報告されました。

安倍自公政権は社会保障の持続確保の観点から2割負担を検討しています。高齢者が憲法25条に基づき安心して医療が受けられるよう1割負担の継続は切実な訴えであり、党市議団は請願採択の為に奮闘しましたが、新友会・公明党によつて否決されました。

予算要望を提出

11月2日、共産党市議団は加藤市長に2019年度予算編成に向けての予算要求を行いました。

重点要求は安倍政権のもとでの憲法9条改定に反対すること、消費税増税と法人税の引き下げに反対すること、国民健康保険料の引き上げを行わ

ず一般会計からの繰り入れを継続すること、学校校舎の老朽化対策、雨漏り、トイレ改修を行うことなど68項目、分野別と合わせて合計327項目です。国言いなりの政治や補助金頼みの予算では、市民の暮らしは守れません。市民生活に寄り添つた予算編成となるよう求めました。

今後も市民の暮らしの立場に立つて市政をチェックしていきます。

編集後記

二〇一九年、亥年がスタートしました。

平成の時代が幕を閉じ、新たな時代の到来です。バブルが崩壊した矢先に平成になりました。

平成の三十年、格差が拡大し、若者の雇用環境や労働条件の変化に翻弄され、政策的対処が極めて不十分なことから若者の意識が個別化しました。生きづらくなりました。また大きな災害も多く、一瞬にして平常な営みを失うなど、災害に対する意識も強くなりました。

この先少子高齢化で、次の時代がどうなるのか不安ではありますが、どんな社会にしたいのか、大いに声をあげていこうではありませんか。

(事務局 角井)

決算認定に反対

12月議会では2017年度の決算認定に対し反対しました。

反対討論では、マイナンバーカードの発行率が10%程度にとどまり今後の増加も見込まれない中、マイナンバー事業に税金がつき込まれている点、国民健康保険料の大幅な値上げが行われた点、南石堂A—1地区において民間の開発事業に市民の税金が投入されている点、人権教育の予算の約3分の1が「あけぼの」の購入に充てられており同和教育に偏っている点などを指摘しました。

今後も市民の暮らしの立場に立つて市政をチェックしていきます。



2019年度予算要望

公共施設のPFI手法に

反対を表明して質問

PFI手法とは、公共事業を資金調達から建設、運営、保守メンテナンスまでを一括して民間グループに任せることであります。

国や自治体は資金の調達が必要ない。職員の削減にもなる。

民間はアイデアが豊富。などと宣伝しますが、過大な企画など失敗事例も多く発生しています。また品質から性能への転換とも言われ、低価格での下請発

注、人件費削減になり、結果として低レベルの公共建築物とならざるを得ません。そして失敗したたら税金投入です。

市はPFIを含め今後も総合的に判断していくと回答しました。

PFIは市民・自治体にとても地元業者にとつても利点はありません。今後も総合的な批判を行なっています。